



SEE MORE JESUS • WANTTOSEEMORE.COM

聖書は知識について何と言っているか? — 第2部・欽定訳 (KJV)聖句とストロング番号

PART 2・聖書の基礎的教理に基づく新しい研究

知識 — 聖書の基礎教理

開会の言葉

知識は宝であり、それを欠く民は滅びる。これはすでに私たちの前に据えられた土台である。今、私たちはさらに進み、同じ真理についての新たな証人たちを見ていく。ヘブライ語はダアト(H1847、知識)であり、これはヤダー(H3045、知る)から来ており、見ることによって知ること——神について聞くだけでなく、神と個人的に親しく知り合うことを意味する。ギリシャ語はグノーシス(G1108、知識)であり、さらに深い言葉としてエピグノーシス(G1922、認識)があり、これは真理をしっかりとつかむ完全な知識である。ここに注意して見てほしい。神があなたの中に望まれる知識とは、書物を積み上げることではない。研究それ自体は、ただ体を疲れさせるだけだからである。それは、ある人格を知ることである。ある人は一生かけて研究しても、それに到達しないことがある。またある人は神を恐れ、それを求めて叫び、それを見出す。それは主を恐れることに始まり、それを求める者たちによって見出され、その終わりは命である——真の神と、神が遣わされた御子を知ることである。全地がそれで満たされる日が来る。だから、どのように聞くかに注意しなさい。それを探し求めなさい。

本研究が答える三つの問い:

1. 知識はどこから始まるのか、また人はどのようにしてそれを得るのか。
2. すべての知識の終わりとは何か。永遠のいのちを得るために、人は何を知らなければならないか。
3. 知識を拒む者たちには何が臨み、全地にはどんな希望が約束されているか。

既に据えられた土台 — 知識

基礎 → 知恵ある者は知識を蓄える(箴言10:14)。

基盤 → わが民は知識がないために滅ぼされる(ホセア書4:6)。

基盤 → わが民は知識がないために捕えられて行った(イザヤ5:13)。

基礎 → 義人は知識によりて救い出されん(箴言 11:9)。

基礎 → 彼は誰に知識を教えようとするのか? 乳を離れた者たちに(イザヤ書28:9)。

土台 → 教訓に教訓、教訓に教訓、規則に規則、規則に規則、ここにも少し、あそこにも少し(イザヤ書28:10)。

パート2は、新たな一連の証人たちによって同じ真理を確認します。

ギリシャ語キーワード

“知識” — **G1108 gnosis** — 知識、学問

キリスト・イエスを知る知識のすぐれたること

“知識” — **G1922 epignosis** — 承認、完全な識別

真理の知識に至るために

“知る” — **G1097 ginosko** — 知ること、認識すること

あなたを知るために、唯一の真の神を

(私個人の思いですが、二つのギリシャ語に注目してください。この二つは密接に関連していますが、同じではありません。グノーシス(G1108, knowledge)は知識、知識学であり、エピグノーシス(G1922, acknowledging)は十分な識別、真理を認めることです。人は最初の一歩を一生かけて蓄えても、決して二番目には到達しないことがあります。常に学び続けても、真理のエピグノーシスに至ることができないのです。神はそこでより充実した言葉を選ばれました。その選択自体が私たちに何かを教えています。)

ヘブライ語キーワード

“知識” — **H1847 daath** — 知識、認識

知恵ある者の耳は知識を求める

“知る” — **H3045 yada** — 見て確かめる、見て知る

主を知ることに従い行くなれば、そのとき我らは知るであろう

“知識” — **H1844 deah** — 知識

地は主を知る知識で満たされる

“理解” — **H998 biynah** — 理解、知識

知識を求めて叫ぶならば

(私自身の思い——ストロングによれば、ヤダ(H3045、知る)とは見ることによって知ることを意味する。ヨブはあらゆる聞くことの後にこう言った。私はあなたのことを耳で聞いていたが、今、私の目があなたを見ている。これこそ、この研究が求めている知識である——ただ耳で聞くだけでなく、見ることである。)

OPENING ANCHOR(冒頭のアンカー)

箴言 1:7 主を恐れることは知識のはじめである、愚かな者は知恵と教訓を軽んじる。

原語キー / **STRONG' S:** ■ H1847 daath

主を恐れることは、知識の初めである。

(私自身の思い——知識には始まりがあり、その始まりは主を恐れることである。ダアト(H1847、知識)は高ぶる者には見出されない。それは人がひざを屈め、神を恐れるところから始まる。神を恐れようとしない者は、神から学ぶことができない。)

I. それを求め、蓄えよ

A. 箴言 18:15 さとき者の心は知識を得、知恵ある者の耳は知識を求める。

原語キー / **STRONG' S:** ■ H1847 daath

さとき者の心は知識を得 + 知恵ある者の耳は知識を求める。

(私の個人的な考え——知識は怠け者に注ぎ込まれるものではない。思慮深い者はそれを得(う)る者であり、知恵ある者はそれを求める者である。それは求められなければならないものなのである。)

B. 箴言 2:3 しかも、もし知識を呼び求め、悟りを得ようと、あなたの声をあげ、

原語キー / **STRONG' S:** ■ H998 biynah

しかも、もし知識を呼び求め+悟りを得ようと、あなたの声をあげ、

C. 箴言 2:5 あなたは、主を恐れることを悟り、神を知ることができるようになる。

原語キー / **STRONG'** S: ■ H1847 daath

あなたは、主を恐れることを悟り+神を知ることができるようになる。

(私自身の思い——順序に注目してほしい。呼び求め、声を上げよ、そして「そのとき」見出すのである。箴言2章3節で「知識」と訳されている言葉はbiynah(H998、悟り)であり、箴言2章5節の「神を知ること」はdaath(H1847、知識)である。悟りを呼び求めよ、そうすれば神はご自身の知識を与えてくださる。呼び求める者に対して、神はそれを隠されないのである。)

D. 箴言 19:2 人が知識のないのは良くない、足で急ぐ者は道に迷う。

原語キー / **STRONG'** S: ■ H1847 daath

知識のない魂は良くない。また、足で急ぐ者は罪を犯す。

II. すべての知識の目的 — 神、そしてイエス・キリストを知ること

A. ヨハネによる福音書 17:3 永遠の命とは、唯一の、まことの神でいますあなたと、また、あなたがたがわされたイエス・キリストとを知ることです。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G1097 ginosko

これが永遠の命です。すなわち、彼らが唯一のまことの神であるあなたと、あなたの遣わされたイエス・キリストとを知ることです。

(私個人の思い——ここに、あらゆる知識が向かって行き着くべき目標がある。ginosko(G1097、知る)とは、彼について知ることではなく、彼ご自身を知ることである。永遠のいのちは、書かれた文字にあるのではなく、ひとりの人格を知ることにある——唯一まことの神と、神が遣わされたイエス・キリストとを知ることである。)

B. ピリピ人への手紙 3:8 わたしは、更に進んで、わたしの主キリスト・イエスを知る知識の絶大な価値のゆえに、いっさいのものを損と思っている。キリストのゆえに、わたしはすべてを失ったが、それらのものを、ふん土のように思っている。それは、わたしがキリストを得るためであり、

原語キー / **STRONG'** S: ■ G1108 gnosis

私はすべてのものを損と思う⇒わが主キリスト・イエスを知ることの優れたるがため+キリストを得るために。

C. コリント人への第二の手紙 4:6 「やみの中から光が照りいでよ」と仰せになった神は、キリストの顔に輝く神の栄光の知識を明らかにするために、わたしたちの心を照して下さったのである。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G1108 gnosis

神はわたしたちの心を照して下さった→神の栄光の知識の光=キリストの顔に輝く

(私の個人的な思い——闇の中に光あれと命じられたその同じ神が、私たちの心の中に輝いてくださった。その光は何を示すのか。それは一つの顔である。神の栄光の知識には顔があり、それはイエス・キリストの顔である。すべての真の知識は、彼を見上げることに至る。)

III. 知識の欠如は滅びをもたらす

A. ホセア書 4:6 わたしの民は知識がないために滅ぼされる。あなたは知識を捨てたゆえに、わたしもあなたを捨て、わたしの祭司としない。あなたはあなたの神の律法を忘れたゆえに、わたしもまたあなたの子らを忘れる。

原語キー / **STRONG'** S: ■ H1847 daath

わたしの民は知識がないために滅ぼされる+あなたは知識を捨てたゆえに→わたしもあなたを捨てて。

(私の個人的な考察——これに注目してほしい。彼らは力の欠如や、パンの欠如によって滅ぼされたのではない。知識の欠如によって滅ぼされたのである。そして、その知識は彼らから隠されていたのではなく——拒絶されたのである。過ちは与える者にあったのではない。)

B. ローマ人への手紙 1:28 そして、彼らは神を認めることを正しいとしなかったので、神は彼らを正しからぬ思いにわたし、なすべからざる事をなすに任せられた。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G1922 epignosis

彼らは神を知ることが好まなかった→神は彼らを汚れた心に渡された。

(私の個人的な思い——ホセアとパウロは同じ証しをしている。一方はイスラエルに、他方は異邦人について語っている。神を自分の知識から排除するなら、精神そのものが引き渡されてしまう。epignosis(G1922、認識すること)——彼らは神を認めようとしなかったので、神は彼らを引き渡された。)

IV. 警告 — 人を高ぶらせる知識

A. コリント人への第一の手紙 8:1 偶像 への 供え物 について 答えると、「わたしたちはみな知識を持っている」ことは、わかっている。しかし、知識は人を誇らせ、愛は人の徳を高める。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G1108 gnosis

知識は人を誇らせ、愛は人の徳を高める。

(私自身の思い——知識はそれだけでは人を高ぶらせるが、愛は人を建て上げる。知識を得よ、しかしそれを愛によって携えよ。高ぶることのないように。)

B. テモテへの第二の手紙 3:7 彼女 たちは、常に 学んではいるが、いつになっても 真理 の 知識 に 達 することができない。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G1922 epignosis

彼女 たちは+いつになっても 真理 の 知識 に 達 することができない。

C. テモテへの第一の手紙 6:20 テモテよ。あなたにゆだねられていることを 守りなさい。そして、俗悪 なむだ話 と、偽りの「知識」による 反対論 とを 避けなさい。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G1108 gnosis

あなたに委ねられたものを守り、偽りの知識と称するものに対する反対論を避けよ。

(これは私個人の考えですが——ここで言う「科学」という語はグノーシス(G1108, knowledge)であり——いわゆる知識とされるものが実は偽りであるということです。真理に決して到達しない一種の学びがあり、実際には知識でも何でもない知識というものが存在します。あなたに委ねられたものを守り、すべてのことを試してみなさい。)

V. 望み — 主の知識で満たされる地

A. イザヤ書 11:9 彼らはわが聖なる山のどこにおいても、そこなうことなく、やぶることがない。水が海をおおっているように、主を知る知識が地に満ちるからである。

原語キー / **STRONG'** S: ■ H1844 deah

彼らは害を加えず、滅ぼすこともない → 地は主を知る知識で満たされる。

B. ハバクク書 2:14 海が水でおおわれているように、地は主の栄光の知識で満たされるからである。

原語キー / **STRONG'** S: ■ H3045 yada

地は主の栄光の知識で満ちる、水が海をおおうように。

(私個人の思い——人々が今拒んでいる知識は、いつの日か全地を満たすであろう。彼を畏れる少数の者たちから始まったものが、すべての地を覆うようになる。神はご自分の地を無知のままに残されない。)

二人の口

イザヤ書 11:9 彼らはわが聖なる山のどこにおいても、そこなうことなく、やぶることがない。水が海をおおっているように、主を知る知識が地に満ちるからである。

原語キー / **STRONG'** S: ■ H1844 deah

地は主を知る知識で満たされるであろう。

ハバクク書 2:14 海が水でおおわれているように、地は主の栄光の知識で満たされるからである。

原語キー / **STRONG'** S: ■ H3045 yada

地は主の栄光の知識で満たされるであろう。

民数記 14:21 しかし、わたしは生きている。また主の栄光が、全世界に満ちている。

原語キー / **STRONG'** S: ■ H3519 kabod

しかし、わたしは生きている → また主の栄光が、全世界に満ちている。

伝道の書 4:12 人がもし、そのひとりを攻め撃ったなら、ふたりで、それに当るであろう。三つよりの綱はたやすくは切れない。

二人は彼に立ち向かうことができる。三つ撚りの糸はたやすくは切れない。

(私の個人的な考察——この三つを並べて見ていただきたい。イザヤは、地は主の知識で満たされると言い、ハバククは主の栄光の知識と言い、そして主ご自身がモーセに、地は主の栄光で満たされると誓われた。知識と栄光とは一つの約束の中で結び合わされている。主を知ることは主の栄光を見ることであり、全地がそれを見るのである。)

影と実現

Shadow ホセア書 6:3 わたしたちは主を知ろう、せつに主を知ることを求めよう。主はあしたの光のように必ず現れいで、冬の雨のように、わたしたちに臨み、春の雨のように地を潤される」。

原語キー / **STRONG'** S: ■ H3045 yada

主を知ることを追い求めれば、その時我々は知るであろう+その出現は朝のように備えられている。

Fulfillment コリント人への第二の手紙 4:6 「やみの中から光が照りいでよ」と仰せになった神は、キリストの顔に輝く神の栄光の知識を明らかにするために、わたしたちの心を照して下さったのである。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G1108 gnosis

神の栄光の知識の光は、イエス・キリストの顔にある。

(私の個人的な思い——ホセアは、主を知ることを追い求め続けよと言い、主の出現は夜明けのように確かであると言っている。パウロは、朝が来た、神が私たちの心に輝いてくださったと言う。預言者が追い求めていたものを、私たちは今、覆いを取られた顔をもって見ている——イエス・キリストの御顔にある神の栄光を。)

閉会

ペテロの第二の手紙 3:18 そして、わたしたちの主また救主イエス・キリストの恵みと知識とにおいて、ますます豊かになりなさい。栄光が、今も、また永遠の日に至るまでも、主にあるように、アメン。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G1108 gnosis

恵みにおいて、また私たちの主であり救い主であるイエス・キリストを知る知識において成長しなさい。

ヨハネによる福音書 17:3 永遠の命とは、唯一の、まことの神でいますあなたと、また、あなたがつかわされたイエス・キリストとを知ることです。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G1097 ginosko

これが永遠の生命なり、すなわち、彼らが汝を知らんためなり。

(私の個人的な考察——これが事の全体の結論である。知識は銀のように探し求めるべきものであり、それは主を恐れることから始まる。それを拒む者は滅び、愛なしにそれを持つ者は誇り高ぶり、認めることなく学ぶ者は決して真理に到達しない。しかし、すべての行き着く先は多くの書物ではなく——一つの御顔、一つの人格、そして永遠のいのちである。すなわち、神を知ること、そして神が遣わされたイエス・キリストを知ることである。その知識において成長せよ。全地がその知識で満たされる日が来るのだから。)

練習クイズ

1. 箴言18:15 — さとき者の心は知識を得、知恵ある者の耳は

- a) いのちの戒めを聞く者
- 知恵ある者の耳は知識を求める
- c) 聞くことで満たされる

2. ホセア書4:6 — わたしの民は知識がないために滅ぼされる。

- a) 幻
- b) 勧め
- c) 知識

3. ヨハネ17:3 — 永遠の命とは、唯一の、まことの神でいますあなたと、また:

- あなたがつかわされたイエス・キリスト
- b) 彼が遣わす真理の御霊
- c) あなたがたが頼りとしているモーセ

4. コリント人への第一の手紙 8:1 — 知識は人を誇らせるが:

- a) 知恵は愚かさには勝る
- 愛は人の徳を高める
- c) 預言は教会の徳を建てる

5. テモテへの手紙第一 6章20節 — あなたにゆだねられていることを守りなさい。そして、俗悪なむだ話と、偽りの「知識」による反対論とを避けなさい。

偽りの「知識」

- b) 哲学とむなしい欺き
- c) 人間の戒め

6. コリント人への第二の手紙4:6 — 「やみの中から光が照りいでよ」と仰せになった神は、キリストの顔に輝く神の栄光の知識を明らかにするために、わたしたちの心を照して下さったのである。

- a) モーセの顔において
- b) 雲の柱の中で
- キリストの顔に

7. 民数記14:21 — しかし、わたしは生きている。また主の栄光が、全世界に満ちている。

- a) 主を知る知識
- 主の栄光
- c) 主の賛美

解答:1-b、2-c、3-a、4-b、5-a、6-c、7-b

このスタディの分岐

→ 新しい契約がそれをどう説明するか。約束はこう言う、彼らはことごとく、小さき者から大いなる者に至るまで、皆わたしを知るであろう(エレミヤ31:34)、そしてその言葉はキリストにあって再び語られる(ヘブル8:11)—影がその成就と出会う、それ自体の研究に備えて。

→ 言葉の重要性:テモテ前史6:20における「学問」という語はグノーシス(G1108、知識)であり、箴言2:3における「知識」という語はビナー(H998、悟り)である—どの語がどこに置かれているか、そしてその理由を確認せよ。

→ それはキリストの中に隠されている。キリストにはすべての知恵と知識の宝が隠されている(コロサイ2:3)。隠された宝を求めるよりも熱心にそれを探し求めよ。そしてその探求は一人の人格において終わる。

心をそれに適用する方法:知識はペテロ後書1:5-7の階段の中に立っている—徳に知識を加え、知識に自制を加えなさい—その階段のあらゆる段はこの一段に依存している。

それが永遠にまで及ぶ様:これが永遠のいのちである、彼を知ることである(ヨハネ17:3)—そして賢き者は大空の輝きのように光り輝く(ダニエル12:3)。

SOURCES & CREDITS

Scripture: Kougo (Colloquial) (Public Domain (1955 口語訳聖書 — Japan Bible Society's own copyright page confirms the copyright protection period has ended; see registry/JAPANESE_LEGAL_PATH.md. Moral/integrity rights are preserved under Japanese law, so the text is rendered verbatim only, never altered -- pipeline.VERBATIM_LANGS.)) — a redistributable edition, looked up exactly and never machine-translated.

Alternate chapter/verse numbering reconciled with STEP Bible TVTMS (CC BY 4.0).

Strong's numbering & original-language data: OpenScriptures Hebrew Bible (CC BY 4.0); STEP Bible.org — TAHOT/TAGNT/TBESH/TBESG (CC BY 4.0);

Robinson-Pierpont Byzantine Majority Text (Public Domain); Strong's dictionary, 1890 (Public Domain).

Typography: Google Noto fonts (SIL Open Font License 1.1).

© SEE MORE JESUS • wanttoseemore.com — shared under Creative Commons Attribution 4.0 (CC BY 4.0).